

# 茨城港 常陸那珂港区 中央ふ頭地区 国際物流ターミナル整備事業

## 計画段階評価の試行について

国土交通省 港湾局  
平成23年1月

# 茨城港常陸那珂港区の概要

## 【概要】

- 東京都心から約110kmのひたちなか市・東海村に立地
- 1969年の新全国総合開発計画において、混雑の激しい東京湾への貨物の一極集中を見直し、**首都圏の新しい物流ルートを開くことが唱われ**、1983年に水戸対地射爆撃場跡地に重要港湾として計画された。1989年より整備着手し、現在、整備中
- 2011年3月19日全線開通予定の**北関東自動車道と直結した新たな国際物流の港湾拠点**としてその機能の充実を図っているところ
- 東京湾諸港が首都直下型地震等で被災を受けた場合の代替機能を担う役割



※高崎～茨城港常陸那珂港区間は北関東自動車道全通時(2011年度予定)

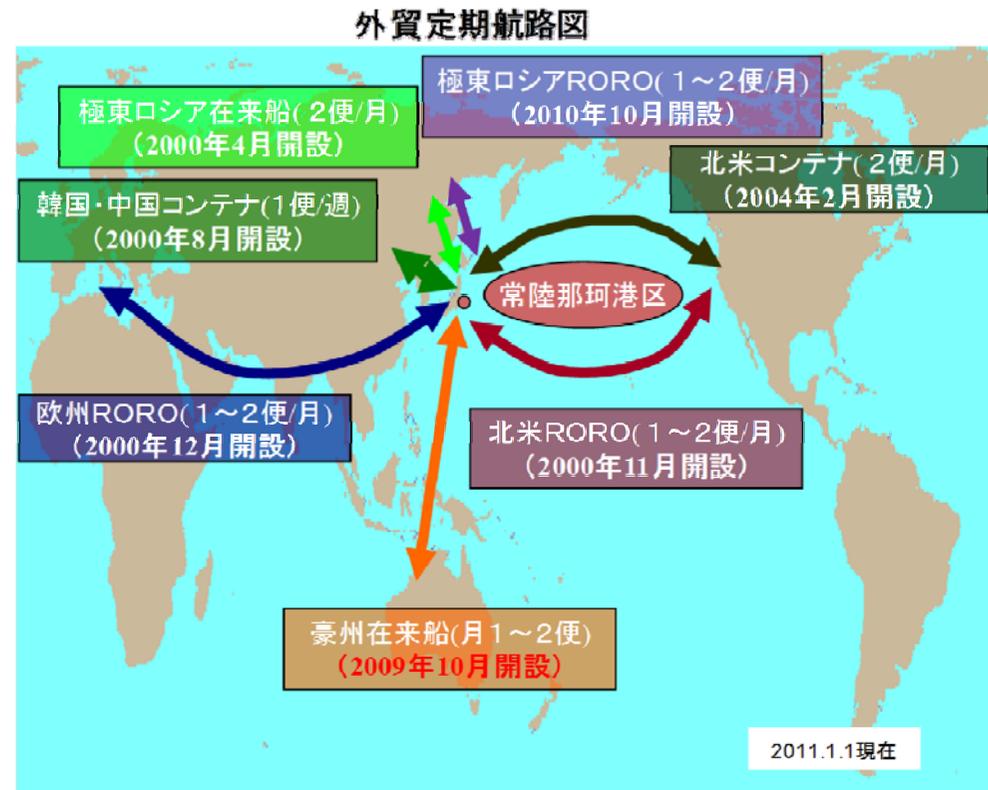
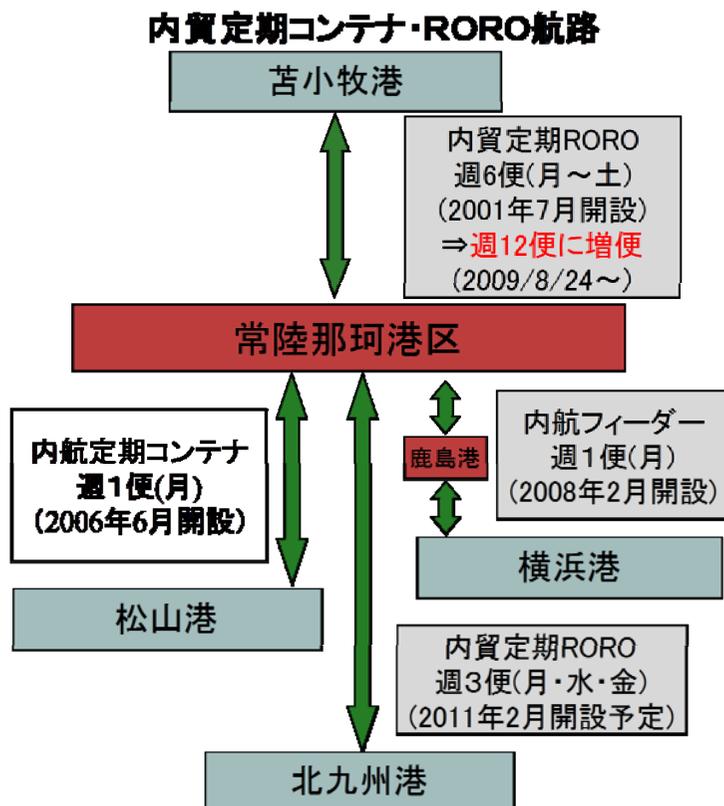
# 茨城港常陸那珂港区の主な定期航路

## 【外貿航路】

- ・2000年4月に北ふ頭の外貿コンテナターミナルの供用を開始。
- ・現在北米、韓国・中国との定期コンテナ航路、北米、欧州、極東ロシアとのRORO定期航路及び極東ロシア、豪州との定期在来航路が運航。

## 【内貿航路】

- ・2001年7月より苫小牧への定期RORO航路が日曜を除いて毎日運航。(週6便)
- ・2009年8月より苫小牧への定期RORO航路が増便。(週12便)
- ・2011年2月より北九州への定期RORO航路が運航予定。(週3便)
- ・横浜港との内航フィーダー航路、松山港との定期コンテナ航路が運航。

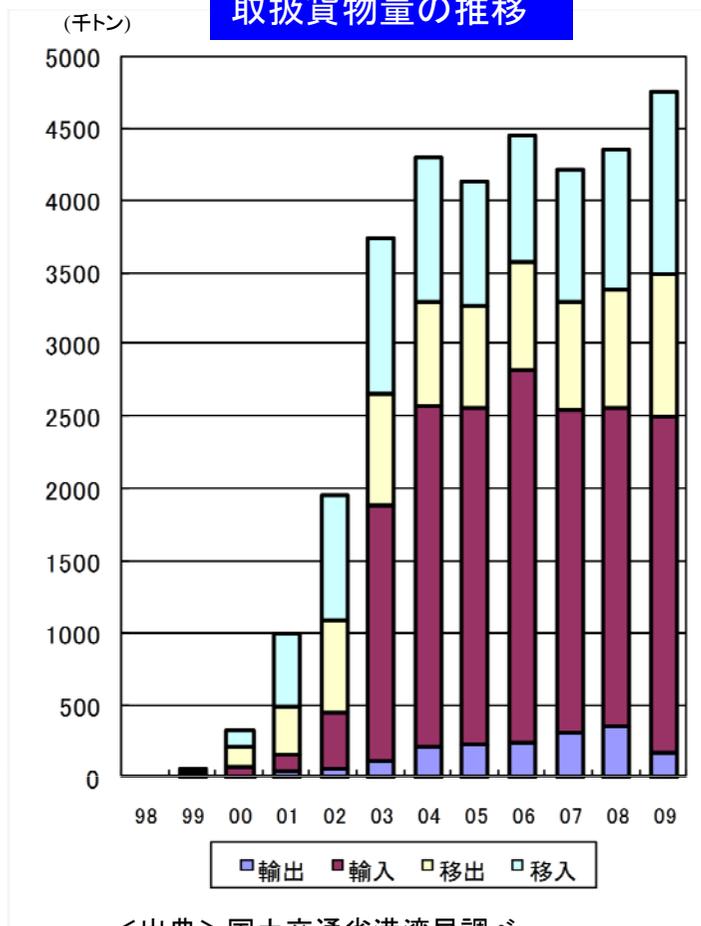


# 茨城港常陸那珂港区の取扱貨物量

## 【取扱貨物量】

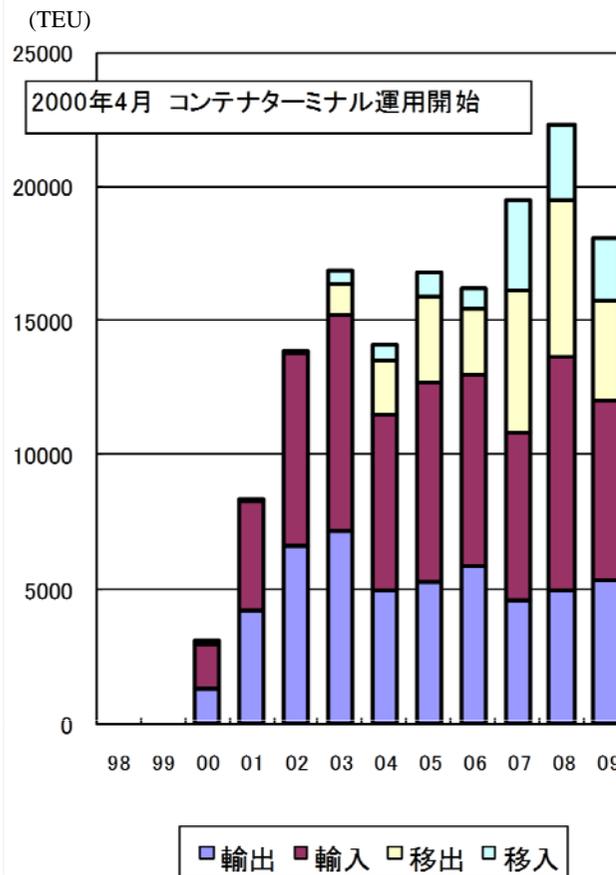
- ・常陸那珂港区では供用開始以降年々取扱貨物が増加傾向にあり、2009年の取扱量は476万トン。
- ・2000年（H12）にコンテナターミナル供用開始。
- ・2006年6月より北米定期コンテナ航路が月2便に増便して以降は取扱コンテナ個数は増加傾向にあるが、2009年は世界的不況により減少。

### 取扱貨物量の推移

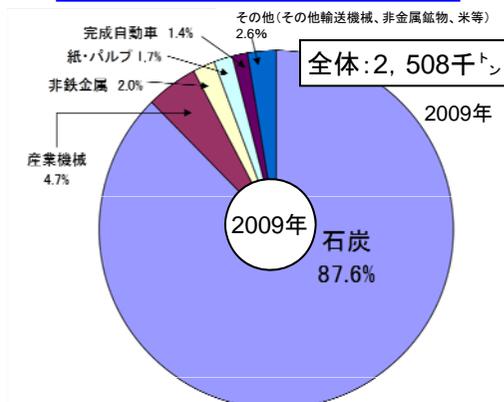


<出典> 国土交通省港湾局調べ

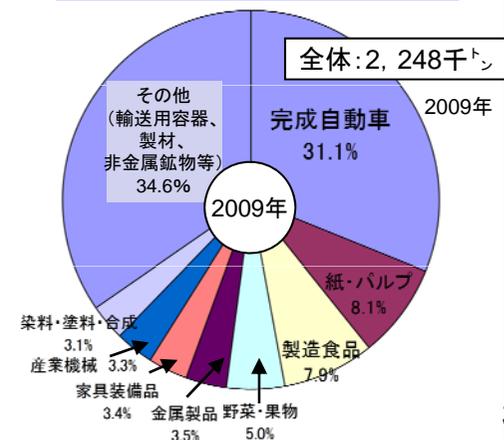
### コンテナ取扱貨物量の推移



### 外買取扱品目の割合



### 内買取扱品目の割合



# 茨城港常陸那珂港区の企業立地の動向

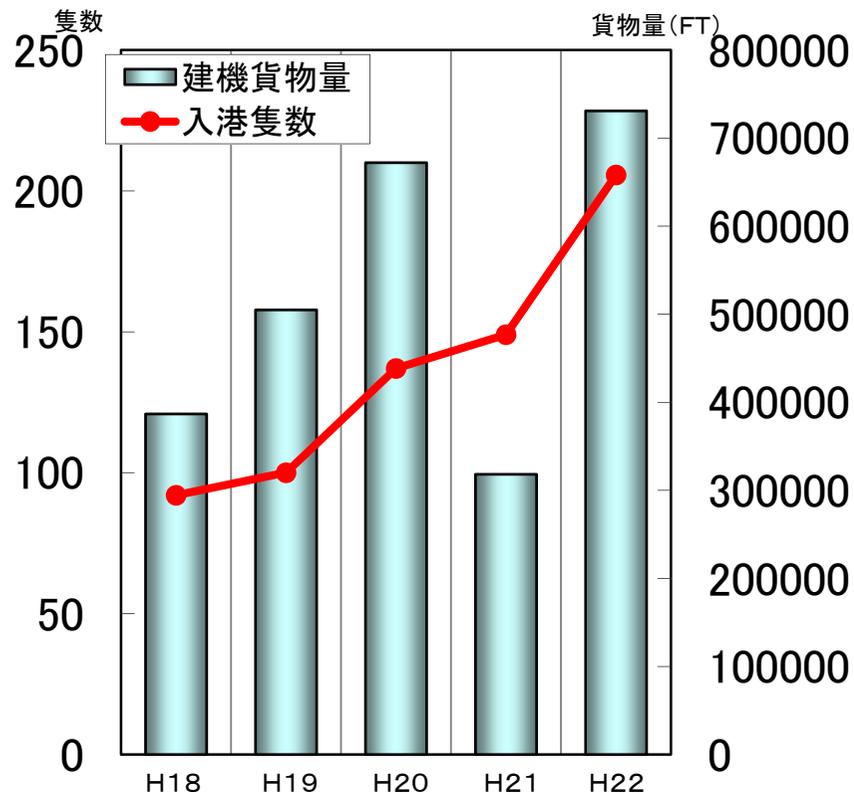
## 【企業立地の動向】

- ・近年、港湾直背後に大手建設機械メーカー2社(コマツ・日立建機)の工場が相次いで立地。常陸那珂港区に就航する国際定期RORO航路によって世界各地に輸出されている。
- ・コマツは、栃木県真岡市の工場を閉鎖し、その一部機能を常陸那珂港区背後の工場へ移転・集約しており、今後の常陸那珂港区における更なる取扱量の増加が期待されている。



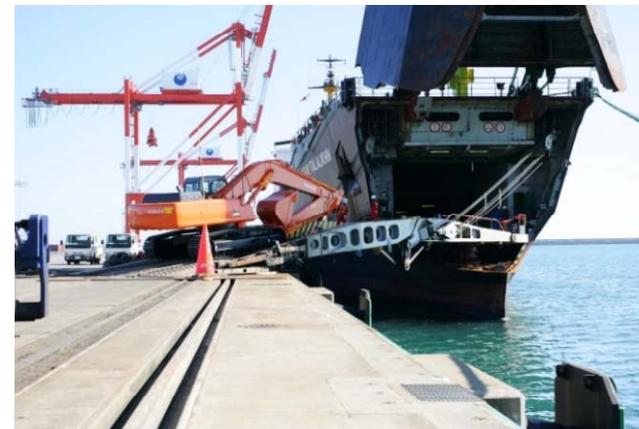
## 【外貿RORO貨物需要の増加】

- ・建設機械の取扱が開始されたH18以降からH20にかけて前年比約30%増と増加している。H21は世界不況の影響もあり前年の約半分となったが、H22は回復傾向にあり、H20と同水準まで回復する見込み。
- ・建設機械メーカーへのヒアリングによると、今後は主に中国・アジア等の新興国向けの需要拡大が見込まれている。また、輸出向け建設機械の生産量は年間15%程度の増産が計画されている。



※H22は見込み分含む

建設機械の貨物量実績と入港隻数



RORO船による荷役状況



北ふ頭地区外港ふ頭の利用状況

## 【事業の目的】

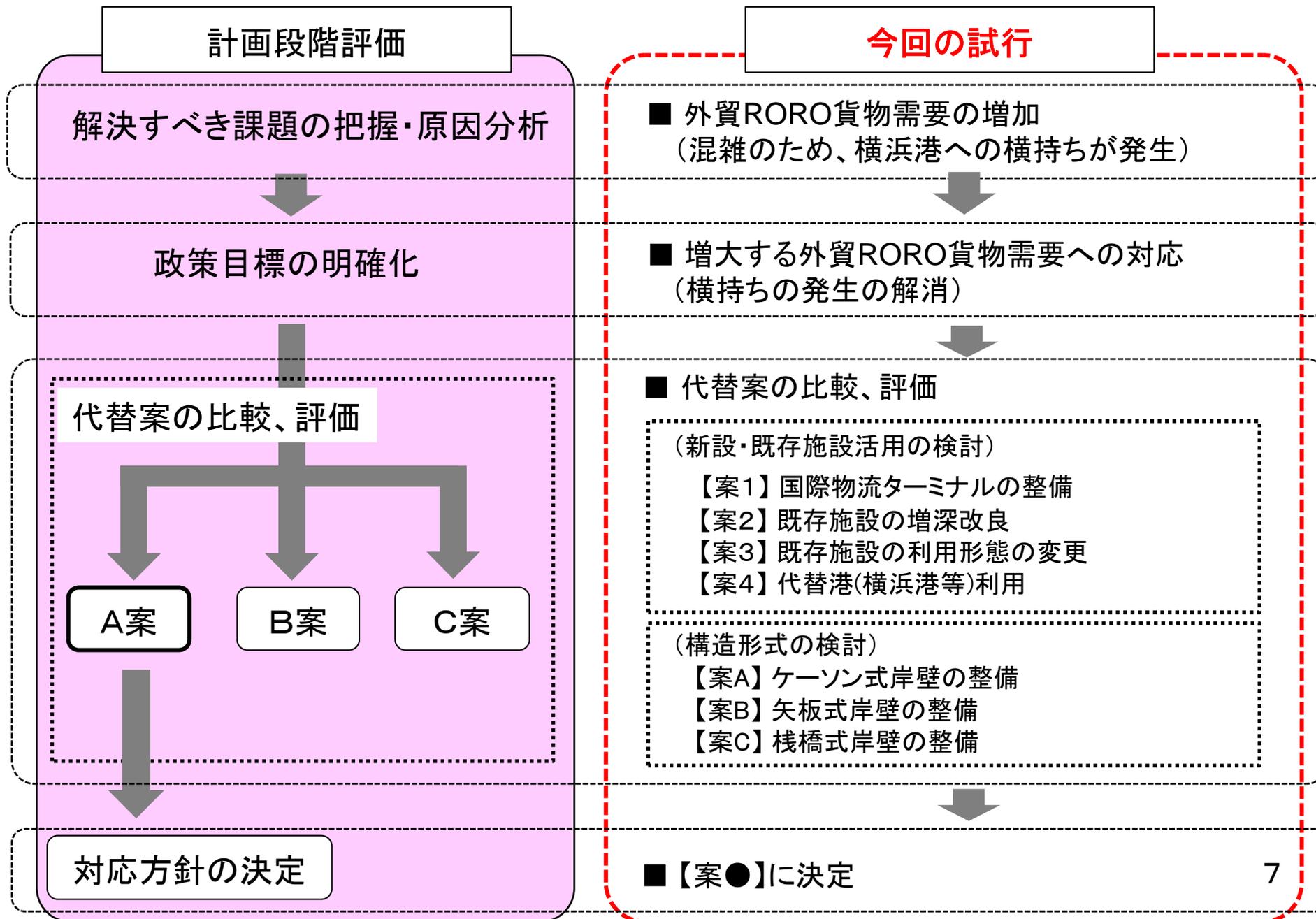
茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区において、他の輸送ルート利用を余儀なくされるなどの非効率な輸送と、増大する外貿RORO貨物の需要に対応するとともに、岸壁の耐震強化により、大規模地震時の海上からの緊急物資輸送及び有事の際のユニット貨物の広域物流ネットワーク機能を確保する。

## 【対象事業】

整備施設 : 岸壁(水深12m)(耐震)270m×1バース、泊地、航路・泊地、ふ頭用地  
事業費 : 約90億円



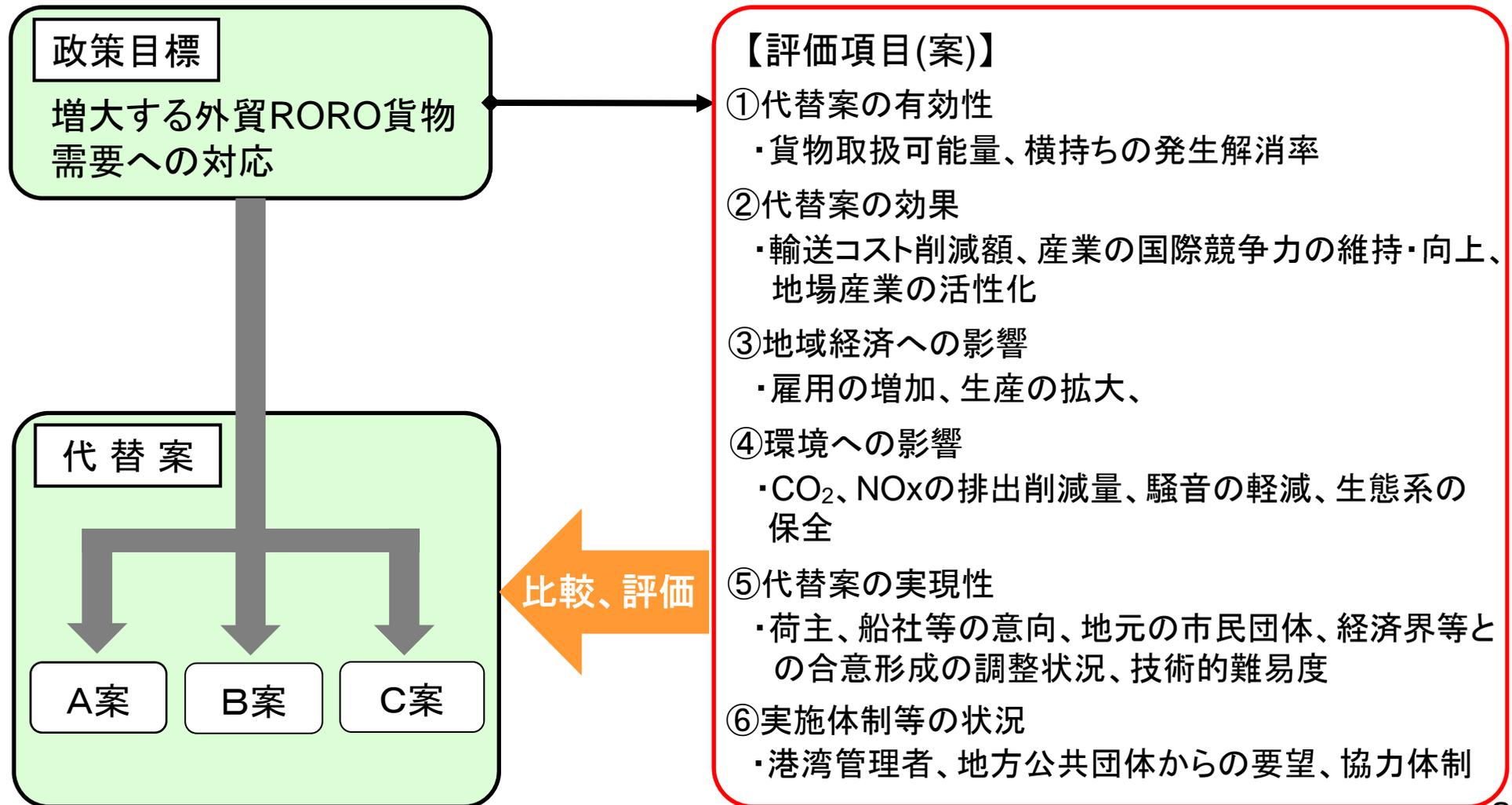
# 計画段階評価の試行の考え方



# 計画段階評価の検討事項①

## 【政策目標の評価項目の設定】

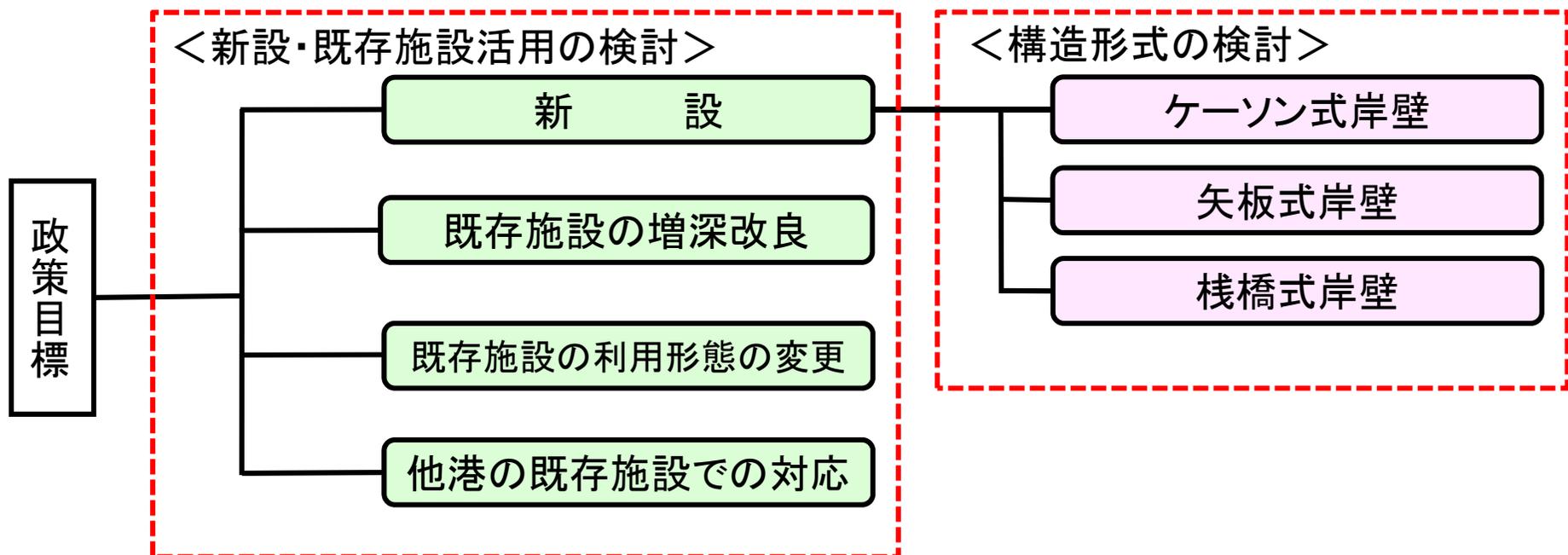
○代替案を比較、評価するために、評価項目として、どのようなものを設定すべきか。



## 【代替案の立て方】

○代替案として、どのようなものを設定すべきか。

### ■代替案の設定の考え方



# 計画段階評価の検討事項③

## 【代替案の比較評価の方法】

○比較評価の方法としてどのようなものが考えられるか。

### ■評価イメージ

評価 \ 代替案	案1	案2	案3
評価項目① (代替案の有効性)	◎	○	△
評価項目② (代替案の効果)	○	○	◎
評価項目③ (地域経済への影響)	○	○	△
コスト	●●億円	▲▲億円	■■億円
総合評価	◎	○	△



対応方針の決定